

★7月から毎週土曜日の外来診察は休診となります。

■6月の土曜日の開院日のご案内

4日、18日を平常診察（※皮膚科、耳鼻いんこう科、産婦人科は休診）します。
また、4日の泌尿器科は休診となります。

■新病院建設工事の進ちょく状況について



東の方向から見た様子

上部の様子

昨年6月より着工した新病院建設工事は、1年を経過し、現在6階部分の建設を進めています。今後7階まで順次建設を進め、並行して設備、内・外装工事、また医療機器等の導入を行い、本年11月頃には新本館の一部（救急、放射線、厨房、手術、病棟部門）が完成する予定です。診療を行いながらの工事ですので、利用者の皆さまに何かとご迷惑、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 病院建設室 ☎82-0381 <内線750・751>

■糖尿病教室のご案内【参加費は無料】

糖尿病教室は毎週水曜日に変更し開催しています。6回シリーズで糖尿病の診断から治療、合併症などについて説明します。

【6月の予定】

- 1日 糖尿病の基礎知識 ～糖尿病ってどんな病気？～（第1回）
- 8日 糖尿病の治療 ～食事療法～（第2回）
- 15日 糖尿病の治療 ～運動療法～（第3回）
- 22日 糖尿病の治療 ～薬物療法～（第4回）
- 29日 糖尿病の合併症（第5回）

【時間】午後1時30分～ 【場所】東館2階232号室
◎開催予定日については毎月の広報に掲載しますのでご確認ください。

■看護師（正職員・パート）を募集します

【募集人員】若干名

【提出書類】履歴書、資格証明書の写し

※院内には保育園を設置しています。
小さいお子さんをお持ちの方もお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ&提出先】市立病院庶務課へ

（土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時）



楽しいお酒の話

このたびの大震災、心からお悔やみを申し上げます。被災された皆様の日でも早い心の平安をお祈り申し上げます。

さて、歓送迎会など、新しい出会いと別れに、お酒を召し上がることも多いかと存じます。昔から、「酒は百薬の長、百毒の長」といいますように、いいところも悪いところもあります。

アルコールによる健康被害というと、皆様が真っ先に思いつかれるのは肝臓への影響だと思われそうですが、それだけではありません。慢性的な多量飲酒は様々な病気の原因になります。



アルコールは肝で多くが代謝されます。そのため多飲は肝臓に負担をかけ、肝臓が障害され、血液検査でγ-GTP、AST、ALTが高くなったり、超音波の検査で肝臓が腫れていたり表面が不整になってきます。この状態は肝炎といわれる状態であり、このまま放置すると肝硬変という不可逆な状態に進行します。また、肝臓がんは肝炎ウイルスの感染と肝硬変がきわめて大きな危険因子です。肝硬変にまで達すると、食道静脈瘤や肝性脳症といった、致命的な疾患の原因ともなります。また、日本人は欧米人と異なり、元々アルコールを分解する能力が低く、アルコール性肝障害になりやすいこともあります。

ほかにも急性膵炎という、致命的な疾患があります。急性膵炎の原因は、多くがアルコール多量摂取と胆石の存在です。急性膵炎は非常に怖い病気で、3%程度の方が亡くなるということが報告されています。また、慢性的に膵臓がダメージを受け、慢性膵炎になることもあります。膵臓はインシュリンを分泌してくれる内分泌器官でもあり、膵炎から糖尿病へと進行することもあります。このほかにも、消化器においては過飲により胃酸の食道内の逆流を生じることによる逆流性食道炎になったり、嘔吐に伴い腹腔内圧が急激に上昇し、食道の胃に近い壁が裂けるマロリーヴァイス症候群を引き起こしたりすることがあります。

また、アルコール多飲者は食事せずに飲酒することもあり、低栄養やコルサコフ症候群といった脳に深刻なダメージを受けることがあります。

適量の飲酒は食欲増進やストレスの軽減といった良い側面もあります。ですが、深刻な事態になる前に健康診断を受けていただき、異常を指摘された際には遠慮なくご相談ください。



ふくち たかゆき
福智 隆介 内科医師

◎福智先生の診察は毎週火曜日です。